



746号  
 〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港  
 福会館 5階  
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622  
 メール roren@kensu.jp  
 ホームページ http://www.kensu.jp/  
 全国検数労働組合連合  
 書記局



# 第55回 定期全国大会

## 検数労連結成 50周年記念大会

9月7日(水)～8日(木)横  
 浜止揚会館大ホールで、第55  
 回検数労連定期全国大会が開催  
 されました。

今定期全国大会で全国検数労  
 連は結成50周年を迎え、全国港  
 湾玉田書記長が来賓としてお祝  
 いと激励の挨拶に来てくれました。  
 また、全玉労連、全国港湾をは  
 じめ多くの共闘関係労組からメ  
 ッセージをいただいたことを御  
 礼を申し上げます。

今大会の参加者は、代議員・中  
 執・オプザバーを含め総勢64  
 名で構成され、活発な議論のもと  
 22年度運動の到達点と総括、23  
 年度運動方針(案)が可決・成立  
 されました。

### 【22年度経過と総括】

昨年の大会以降、我々を取り巻  
 く環境は異常な物価高騰が暮らし  
 を直撃する中で、家計や将来への  
 不安に加えコロナ禍の中での  
 生活不安などがあるなかで、『も  
 っと前進！もっと見える化！さ  
 らなる日常活動の実践で組織力  
 の強化を』の方針を構築し、年間  
 を通じて運動を展開してきました。  
 その結果、22冬季一時金・23  
 春闘・23夏季一時金の経済闘争  
 部分では前年度比を上回る成果  
 を出しました。

一方で、各地域代議員からは要  
 求額と回答額の差や大幅値上げ  
 にまでは至らなかったこと。更には  
 一時金での業績加算による支  
 部間格差回答(アルファ回答)な  
 どについての発言が多く出され、

課題を残す結果となりました。  
 各地域代議員から出された意  
 見を踏まえ、検数労連の運動方針  
 である『仕事と収入の確保』運動  
 をバージョンアップさせていき、  
 両協会に対して労働環境整備に  
 向けた原資確保と料金収受を中  
 央・地域で連携を図りながら要  
 請・検証していくことが強く求め  
 られます。

### 【23年度運動方針】

23年度は日常生活を通して組  
 合員の生活と暮らしをいかに守  
 り、要求を前進していくかが問わ  
 れることから、引き続き中央・各  
 地域が連携を図りながら『雇用と  
 職域の維持・拡大』『安定した生  
 活の維持、経済要求の前進』『日  
 常活動の活性化と次世代育成の  
 前進』『暮らしと雇用、平和を守  
 る運動の展開』を基調とした運動  
 を図っていきます。

具体的には幅広い世代からの  
 『声を聞く活動』を中心に全員参  
 加の運動に繋げていくこととし  
 ます。同時に全国港湾・全玉労連・  
 国民春闘共闘などが展開する共  
 同行動に参加し、検数労連運動の  
 前進をはかっていきます。

経済闘争では(春闘・夏冬一時  
 金)を基本に組合員の『生活の安  
 定』を第一義に『生活防衛闘争』  
 と位置付け、一時金および賃金引  
 上げに向けて全力でたたかいを  
 構築していきます。同時に労働環  
 境整備に資する原資確保を最重  
 点課題と位置付けて組織的な検  
 証作業を進めていくこととしま



(今大会をもって退任した瀬戸中央執行委員長)

### 瀬戸中央委員長お疲れ 様でした

2017年度～2022年度  
 まで、全国検数労連中央執行委員  
 長として、港湾産別運動・検数労  
 連運動の先頭に立って奮闘され  
 た『瀬戸中央執行委員長』が第55  
 回定期全国大会で退任となりま  
 した。これまで我々組合員の先頭  
 に立ち、組合要求の前進に向け奮  
 闘していただいたことに感謝申  
 上げます。

ます。具体的には、産別制度要求  
 の港湾春闘、生計費原則に基づい  
 た賃上げ要求の検数春闘、月給賃金  
 を力ハーするため一時金闘争  
 (夏冬)を中心に実力行使を背景  
 に経済要求の前進を図っていく  
 ます。また、65歳定年延長制度  
 の確立などの産別課題の前進に  
 向けて企業内労使協議の進展を  
 図るために日検労中央と全日検  
 部会に対して『企業対策』を検討

### 【2023年度 中央執行役員体制】

中央執行委員長	石橋 覚 (新)
中央副執行委員長	山田 拓 (再)
同上	高木正一 (新)
中央書記長	光部泰宏 (再)
中央書記次長	石渡周二 (再)
中央会計監査	小室平次 (再)
同上	福田 亮 (再)

### 【2023年度新中央 役員体制決定】

第55回検数労連定期全国大会  
 で2023年度役員選挙が行わ  
 れました。その結果、大多数の賛  
 成票を経て左記のとおり役員体  
 制が確立しました。  
 今年度から新中央執行委員長  
 に石橋覚前中央副委員長、新中央  
 副委員長に高木前中執が役職変  
 更となりました。  
 組合員の皆様、今年度も精一杯  
 頑張っていきますので、よろしく  
 お願いします。

していくこととします。  
 直近の課題として23秋闘が控  
 える中で、要求に沿った『安定し  
 た一時金』の確保に向け、従来通  
 りの要求方式(本給十家族・地域  
 年齢)×乗率十一律十都市手当を  
 確認。具体的な要求策定について  
 は10月末に開催する検数労連代  
 表者会議の中で決定していきます。